

令和元(2019)年度 岡山市 学生イノベーションチャレンジ推進事業
キックオフミーティング

高齢者の仲間づくり・学び・健康増進
に役立つ
小旅行先を紹介するパンフレット
「岡山市シルバー健康ツーリズム」
の作成と利活用

2019(令和元)年7月27日

山陽学園大学

生活心理学科・地域マネジメント学科まちづくり
学生有志チーム

【地域における課題】

岡山市も高齢社会を迎え、市民は高齢期を健康に過ごすことが課題になっている。

上記の課題を解決するためには、まず高齢者が活動して健康寿命を延ばす必要がある。

【活動目的・活動計画】

(1) 学生と市民で立案する「シルバー健康ツーリズム」

- ◆ 第1段階として、学生が高齢期の健康維持活動に熱心な協働団体（平井すずらん交流会・オレンジカフェひらい）と協働しながら、高齢者が訪れ仲間づくり・学び・健康増進ができるシルバー健康ツーリズムの資源を調べる。
- ◆ 第2段階としてこのデータを観光の専門家であるツーリスト（JTB）のアドバイスと協働団体のモニタリングを得てマップ形式の資料を作成する。
- ◆ 第3段階として、このようなシルバー健康ツーリズムの情報を求めている市内の団体に伝え、高齢者の健康寿命の延伸を目指す。

- ① 高齢者に無理のない日帰りモデルコースを設定し協働団体の意見を聞く。現地取材をして整理する。
- ② 見応えのある岡山市の自然や高齢者の関心の深い歴史的な景観を把握するため、それらを取り上げた文学・絵画・写真・映画等の情報をまとめ、協働団体の意見を聞き整理する。
- ③ 上記活動をもとにツアーリストのアドバイスと協働団体のモニタリングを得て広報パンフレット「岡山市シルバー健康ツーリズム」を作成する。

2) 広報・利活用

パンフレットが完成すると、岡山市内の平井学区のすずらん交流会・オレンジカフェ・老人クラブを始め、市内の各学区の同様な高齢期の健康維持活動に熱心な団体に郵送し、利活用を働き掛ける。働きかけ先はリストアップを完了している。

一方、頼広く一般市民に対しては「シルバー健康ツーリズム」と銘打ち、ツーリスト(JTB等)のアドバイスを受けておかやま観光コンベンション協会等観光業界への働き掛けも試みる。

活動の内容

- ① ベースになるマップを作成する。
- ② 掲載データの収集をおこなう。すずらん交流会・オレンジカフェ、JTBと協議する。
すずらん交流会・オレンジカフェの例会で学生達がワークショップをし、ニーズの聞き取りを行う。
- ③ 現地調査
- ④ マップの編集掲載 内容検討をおこなう。
すずらん・オレンジカフェ、JTBと協議する。
- ⑤ マップの 印刷
- ⑥ 発表・マップの 利活用

スケジュール案

5月～9月：ベースのマップを作成する
掲載データの収集
モデルコースを設定

8月～10月：現地調査

10月～12月：マップの編集

1月：マップの印刷

利活用計画の確定

2月：発表

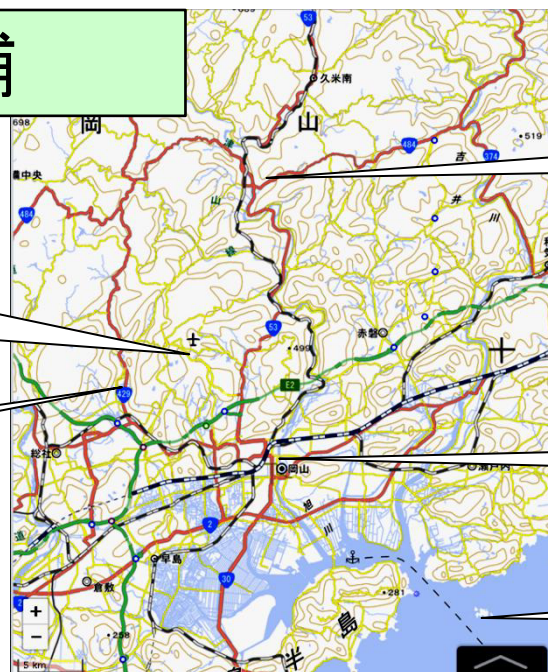
2月～3月：マップの利活用

【活動対象(予定)地域】

岡山市域の調査候補地:

福渡・御津、岡山空港・足守・吉備津、西大寺・犬島等のモデルコースを設定し現地で所要時間・ユニバーサルデザイン・トイレ等の確認する。

モデルコース候補



建部・御津

岡山空港・日応寺

足守・吉備路

城下町岡山

西大寺・犬島

【地域の概要】

地域は岡山市域の公共交通機関を使い
グループ・家族で日帰り旅行ができる所

活動に期待される効果

- ① 高齢者が日帰り旅行を通じて岡山市の魅力
を把握することにより、仲間づくり・学
び・健康増進を含む観光活動「シルバー
健康ツーリズム」を行うきっかけとなる。
- ② 上記の岡山の良さを広める活動を通じて、
高齢期の市民の生活の豊かさの増進と
健康寿命の延伸を目指す。

新規性・チャレンジ性

- ①「シルバー健康ツーリズム」という高齢者にターゲットを絞り込んだ活動である点
- ②年配の世代が岡山市の魅力を知り、仲間づくり・学び・健康増進を始めるきっかけとなるパンフレットを作成する点
- ③完成資料を市内各学区の高齢期の健康維持活動に熱心な団体に送り利活用を働き掛ける等、手作りの広報活動と、観光の専門家であるツアーリスト(JTB)のアドバイスを受けて観光コンベンション協会等の観光業界への働きかけという、2つの手法を平行して実施する点

活動の今後の展望（継続性・将来性）

- ①岡山市の年配の世代のための仲間づくり・学び・健康増進が含まれる観光活動のためのコンテンツは、更新を加えながら継続して活用していくことができる。
- ②学生チームはすずらん交流会・オレンジカフェへ継続的に運営参加していく。
- ③大学、市民団体、企業という3者の協力した経験は、まちづくり活動に役立てることができる。

協働する相手・役割

【協働団体1】

平井すずらん交流会（平井学区
安全安心ネットワーク内の福祉
に熱心な方々の集まり）

オレンジカフェひらい（平井学区地域づくり会議
（那須連町代表）の内部組織で認
知症カフェを運営している部会）

【協働団体2】

JTB岡山支店



<https://townweb.e-okayamacity.jp/c-hirai-rengou/>



<https://www.google.com/maps/>

相手方の役割

【協働団体1】

平井すずらん交流会・オレンジカフェひらい
学生原案への高齢者や子どもの関心や体力等の面から意見出し。

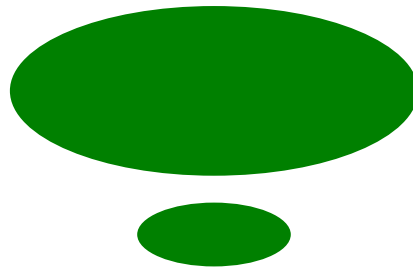
完成後の利活用

【協働団体2】

JTB岡山支店

観光のプロの視点から、企画の根幹の完成度、社会への訴求力などをアドバイス。

以上で発表を終わります。
完成を目指して頑張ります。



山陽学園大学
生活心理学科・地域マネジメント学科まちづくり
学生有志チーム